

なかの生涯学習大学の再編の考え方及び今後の進め方の見直しについて

なかの生涯学習大学の再編の考え方及び今後の進め方について、説明及び意見交換の会での意見等を踏まえ、以下のとおり見直しを行う。

1. 再編の考え方についての説明及び意見交換の実施状況

	日時	実施方法・会場	参加者数		
			会場	オンライン	計
1	10月21日(木)19時~21時 ☆	オンライン	—	30	30
2	10月23日(土)10時~12時 ☆	オンライン・区役所	16	13	29
3	10月23日(土)14時~16時	オンライン・区役所	12	4	16
4	10月25日(月)14時~16時 ☆	オンライン・区役所	9	17	26
5	10月25日(月)19時~21時	オンライン・区役所	4	19	23
計			41	83	124

※表中☆印：なかの生涯学習大学在校生及び卒業生を対象とした説明と意見交換の会

2. 意見の概要

別紙1のとおり

3. 主な意見と区の考え方

	主な意見	区の考え方
1	再編する理由がわからない。基本構想・基本計画のめざす姿は現在のなかの生涯学習大学で達成できている。	ご意見を踏まえ、再編に先立ち、中野区における人生100年時代の生涯学習のあり方について、なかの生涯学習大学在校生・卒業生、地域で活動する団体の代表、公募区民、専門的な知見を有する学識経験者を交えて検討を行い、その結果を再編の考え方に盛り込むこととする。 (検討にあたって着目する主な事項) ①中野区における人生100年時代の生涯学習のあり方 ~学びを地域での健康・生きがいづくりや地域での活躍にどうつなげるか ②なかの生涯学習大学の目的に掲げている「地域で活動できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。」を効果的に実現するための方策等
2	生涯学習は純粋な学びであり、地域の担い手づくりを目的とするものではない。	
3	「地域での活躍応援コース」は、なかの生涯学習大学の目的にはあたらない。目的の解釈を変更するのか。このコースはなかの生涯学習大学には不要である。	
4	学びを通じて仲間づくりをするには3年間が必要である。	

		<p>③生涯学習支援の充実、地域での健康・生きがいづくりや活躍応援事業の充実を図るための方策等</p> <p>④効果的に実施するための庁内関係部署・区内関係機関等との連携体制</p>
5	再編の考え方で掲げた課題については、いずれも現在のなかの生涯学習大学の見直しで対応が可能である。	再編の考え方で示した「生涯学習大学及び在校生・卒業生の状況からみた課題」及び「再編の基本的な考え方」を踏まえ、令和4年度のなかの生涯学習大学のプログラムや講座の実施方法等を見直す。
6	地域ことぶき会との連携がどうなるのか。現在のなかの生涯学習大学在校生が地域ことぶき会に入らない状況がある。改善してほしい。	令和4年度、なかの生涯学習大学のプログラムや講座の実施方法等を見直し、なかの生涯学習大学の卒業生による地域ことぶき会等の活動紹介する講座等を実施する。
7	現在のなかの生涯学習大学との接続はどうなるのか。完全なプログラムでスタートできないのであれば、従来どおり1学年を募集すべきである。	再編に先立ち、中野区における人生100年時代の生涯学習のあり方について、学識経験者を交えた検討を行うため、令和4年度については、暫定的に令和5年度までの2年間の進級制によるプログラムでの受講を条件として1学年の募集を行う。

4. 再編の考え方の見直し

(1) 主に次の項目について、なかの生涯学習大学在校生・卒業生、地域で活動する団体の代表、公募区民、専門的な知見を有する学識経験者を交えて検討を行い、その結果を再編の考え方に盛り込むこととする。

①中野区における新しい時代の生涯学習のあり方 ～学びを地域での健康・生きがいづくりや地域での活躍にどうつなげるか

②上記4(1)①の検討を踏まえた検討事項

○なかの生涯学習大学の目的に掲げている「地域で活動できるよう、必要な知識・技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。」を効果的に実現するための方策等

○生涯学習支援の充実、地域での健康・生きがいづくりや活躍応援事業の充実を図るための方策等

○効果的に実施するための庁内関係部署・区内関係機関等との連携体制

(2) 再編による新しい事業(案)については、意見交換での意見等を踏まえ、次の事項を反映し、別紙2及び別紙3のとおり見直すこととする。これをもとに、上記4(1)の検討を行い、併せて具体的な実施方法や学びの体系・期間等についても検討する。

<意見交換での意見を反映した再編による新しい事業の主な見直し内容>

①学びを通じた仲間づくりを効果的に実施するために

○学びの入門講座及び修了講座(必修講座)の充実(2回連続講座→3回連続講座)

○学びの支援講座(必修講座)による協同学習支援機能の充実(新規に追加)

②人生100年時代における健康・生きがいづくりを効果的に実施するために

○健康・生きがいづくりや介護予防等をテーマとした講座の充実（各講座等の内容に追加）

5. 今後の進め方

<令和3年度>

年月	概要
令和3年12月～ 令和4年1月	令和4年度のなかの生涯学習大学のプログラム及び講座の実施方法等の見直し検討
令和4年3月	令和4年度なかの生涯学習大学について議会報告(厚生委員会)
令和4年3月～4月	令和4年度1学年募集 *暫定的に令和5年度までの2年間の進級制で募集

<令和4年度>

年月	概要
令和4年5月	令和4年度なかの生涯学習大学開講
	検討会の設置等について議会報告(厚生委員会)
令和4年5月～10月	検討会における検討
令和4年10月	新たな再編の考え方について議会報告(厚生委員会)
	説明・意見交換会の実施
令和4年12月	なかの生涯学習大学の再編(案)について議会報告(厚生委員会)
	令和4年度なかの生涯学習大学閉講
令和5年3月	なかの生涯学習大学再編について議会報告(厚生委員会)

なかの生涯学習大学再編の考え方の説明及び意見交換における主な意見と
区の考え方の概要について

(1) なかの生涯学習大学の再編の理由や経緯等について

意見の概要	
1	現在のなかの生涯学習大学をなぜ再編するのか。2月の説明から一步も進んでいない。きちんと説明すれば納得できると思う。関心をもって意見交換会に参加している。意識の高い方が参加している。きちんとした説明がないと、最終的には押し切るであろうと感じてしまう。
2	「基本構想」や「基本計画」の内容については知らない人も多い。「基本構想」の改定や「基本計画」の策定を踏まえた再編であるなら、「基本構想」や「基本計画」とは何かというところからしっかり説明してほしい。それが理解できれば、比較的容易にこの問題は収束できるのではないか。
3	受講生全体の再編についての問題意識はそんなに高くない。一部の層しか関心をもっていない。区がどう考えているかをしっかり説明し、周知してほしい。このようなディスカッションしてもエンドレスである。噛み合っていない。
4	この問題が起きて、「基本構想」・「基本計画」を見てみた。答申に「ゆるやかな人のつながりが支える」という考え方が示されている。これは、なかの生涯学習大学に合致していると思っている。
5	現在のなかの生涯学習大学に満足していることも多い。社会的にも評価されている。課題はあるが、再編などせずに、現在のシステムでもよいと思う。地域デビューの講座については、反対はしないが、地域の育成をすることとなかの生涯学習大学の目的は違う。生涯学習大学は生涯学習が中心である。これを残さないと後継事業とはならない。
6	50年かけて育ててきたものを数か月の検討で新たなものに見直す計画をつくることは理解できない。解体に見える。3年間の学び、グループワーク、ゼミ活動、その仲間づくりのなかで、地域活動をやりませんかとの声が出てきている。これが、強制でなく、地域活動にかかわる成果である。外部講師からの評価も高い。中野区の財産である。3年間かけて地域で友達ができたと喜んでいる。再編の考え方で提案された事業はなかの生涯学習大学のよさがまったく引き継がれていない。担当がよさをわかっていないのは衝撃である。現状把握、どんな問題があるかを究明するのがスタートである。在校生や卒業生へのヒアリングが一番効果がある。課題があるのであれば、現在のなかの生涯学習大学のなかで解決すればいい。しなくてよいことをしている。それでも改革できないのであれば、再編すればいい。新しいことをやりたいのであれば、別にやればいい。なぜ再編するのか、繋がりがわからないので、議論のしようがない。
7	再編の真の目的は、地域での活躍の場をつくることにある。それだけである。なかの生涯学習大学は、区のサポート人材養成機関ではない。2025年問題に取り組んでこないと、土壇場になって後期高齢者が増える2025年に間に合わせようと担い手を輩出できるものにしようとしている。2025年問題については、なかの生涯学習大学とは別に進めてほしい。スタートが間違っているので全部間違っている。支離滅裂である。この案は即刻撤回してほしい。
8	再編について、どのように検討したかプロセスを見せてほしい。区が地域での活動をしてほしいというのが見え見えである。シニアの学びだけにし、地域の担い手養成は別にすればいい。地域デビューはあとにすればいい。

【区の考え方】 中野区基本構想及び中野区基本計画がめざすまちの姿などを踏まえ、社会状況の変化等を勘案しつつ、中野区における人生100年時代のなかの生涯学習などについて検討する機会を設ける。

(2) 現在のなかの生涯学習大学の課題について

意見の概要	
9	再編の考え方で課題として掲げられた内容には違和感がある。課題も不本意であるが、再編しなくても、現在のなかの生涯学習大学を継続しながら解決できるのではないと思われる。再編する理由にはなっていないと感じる。
10	再編の考え方で課題として挙げられた5項目について、再編の考え方で提案された案ではどう対応するのか説明してほしい。
11	「基本構想」と「基本計画」で生涯学習を支援する機能と地域での活躍を応援する機能をそれぞれ充実する方向を決めたからという理由で、なかの生涯学習大学を再編せざるを得ないというのはおかしいのではないか。
12	昭和48年度から高齢者人口が増えているのに受講生が減っている理由をどう考えているのか。再編する価値はあると思う。応援する。
13	学ぶ期間を1年・2年・3年と選べるようになることには賛成である。高齢者なので、通い続けられるかどうかもあるから。しかし、大学と名乗ったら2～3年は必要ではないか。何年学ぶかを選べる選択肢を導入するために「大学」という名前を変える価値もあると思う。
14	現在のなかの生涯学習大学の目的のとおり事業が実施できればよいと思っている。学んだことを地域へ還元がすることが大切である。絆とか仲間づくりが大切という意見が多いが、実際に卒業後に地域で活動している人がどのくらいいるのか。自分たちの場合は地域では20人中4人である。活動もことぶき会など卒業生で集まってコミュニティをつくっている例がほとんどである。受講生も減少していて、このままで受講生は増えるのか。他の自治体ではコミュニティづくりだけを目的としている大学もある。現在は、1学年、2学年、3学年のコミュニティはできるが、そのあとは続いていると思う。地域の町会や自治会、地域の祭りなどにつながるのも難しい。卒業したあとに活動できるようプログラムを組むことが必要である。
15	男が地域に居場所をつくるのはむずかしい。女性は多くの場所で活躍できるが、男性の場合は難しい。単身男性の孤独死などの事例などもある。地域で繋がりをつくっていくことが大切である。
16	ことぶき大学からなかの生涯学習大学になって10年が過ぎ、社会が激しく変わっていくなか、このままでいいのか。見直し、振り返りは必要と考える。なかの生涯学習大学で学んでも、その後地域とつながっていないことは、ずっと言われてきたことである。人が集まらないのは、PR不足だけでなく、そこに魅力がないからではないか。内部からの目線で、外からどう見えているか気づかない方たちが多い気がする。
17	仲間づくりを意識した講義内容、高齢ゆえに関心をもつ講義内容が少ないように思う。もう少し中野区にかかわる内容等が多いともっと地域に興味をもてるような気がする。

【区の考え方】 再編の考え方で示した課題のうち「区民活動センターを単位とした地域班の活動が学年ごとで行いにくい状況」や「区民による地域での多彩な活動を具体的に紹介したり、こうした活動につながる機会を提供する講座が3年間で5講座程度である」などについては、令和4年度のなかの生涯学習大学のプログラムや講座の実施方法等を見直すことで改善を図る。また、令和4年度の検討テーマとし、あらためて改善の方策について検討を行う。

(3) 現在のなかの生涯学習大学のよさ・魅力等について

意見の概要	
18	再編の考え方で示された案のように1年で切り貼りのようなプログラムではどうかと思う。3年間でコミュニケーションがとれるようになり、チームができて、地域で情報を共有したえり、教え合ったりできることが大切であることが、3学年になってわかってきた。提案されている案はゼミの切り売りのような感じがしてならない。これでは一体感ができないのではないか。「基本構想」や「基本計画」を踏まえて、再編が提案されたということについては理解する。カリキュラムとしてはわかるが、基本的な考え方として3年間のマインドがどこかへいってしまった感じがしている。
19	新しいカリキュラムは合理的だけれども慌ただしい。家に寝に帰るだけのサラリーマンが定年退職してから地域に密着して町会や自治会に入ったり、地域に友達をつくるのは相当厳しい。サラリーマンが地元を知って、仲間をつくって、何かを始めるには3年間はあったほうがいいのではないか。仲良くなった友達が活動していると、その影響で活動する人も増えると思う。それは、1年では難しいと思う。同じ地域の人を親しくなるシステムはメリットがある。その道は残してほしい。それ以上を期待するのであれば、大学院をつくればよい。
20	なかの生涯学習大学の内容は素晴らしいものである。改善・改良であればもろ手をあげて賛成である。
21	家に寝に帰るだけの人生を続けてきたが、生涯学習大学に通って、地域で挨拶する人の数が増えた。仲間をつくる場は大切である。なくさないでほしい。
22	ゼミ活動で深めるのは重いと感じている。いい部分を残しつつ、新しい事業を取り入れてもいいのではないかと思う。
23	現在の生涯学習大学のよさは、地域を知る、老いとのつきあい方を学ぶ、高齢者だから知っておいた方がよいことを学ぶことである。

【区の考え方】 現在のなかの生涯学習大学の3つの目的を踏襲し、魅力やよさを引き継ぎながら、生涯学習を支援する機能と地域での活躍を応援する機能をそれぞれ充実する。

(4) 再編の考え方で示した案について

意見の概要	
24	令和4年度以降、なかの生涯学習大学の1年生と2年生はどのようなプログラムを考えているのか。現在の2年生・3年生のプログラムと同じプログラムを受講するということか。先輩がいないので難しいと思うが、どう考えるか。下の学年もいて3年間のプログラムを期待して入ってきているが、それは保障されるのか。
25	3年制をやめて1年の事業とすることが、なぜ充実なのか。
26	再編の考え方で示した案でなぜ充実したと言えるのか。説明資料の体系にある「地域での活躍応援コース」をなかの生涯学習大学のプログラムとする意味はない。
27	現在のなかの生涯学習大学は素晴らしい学びの場になっている。再編の考え方で提案された案はぶつ切れの感じがする。これでは、受講生の絆づくりはできない。仲間づくりができ、地域に目を向けるシステムがなくなることで、認知症になる高齢者が増えると心配している。
28	長年ボランティアを行ってきたが、一昨年、ボランティアとは違う学ぶ喜びや仲間づくりを経験したくて入学した。学びの場としては、積み重ねが必要だと思う。再編の考え方で提案された案

	<p>については、1年ごとに同じことを学ぶのか、地域で活動する人の支援はどうするのか。地域で活動する人に必要な資格とはなにか。大学と名前をつけるのであれば、長く学べることが大切であると思う。後輩のために、よりよいものになってほしいと期待している。</p>
29	<p>再編の考え方で提案された案については、ゴールは「地域での活躍応援コース」となるのか。無駄があってつながりができる。これがなくなってしまう。</p>
30	<p>地域に参加することを目的としているが、地域に貢献しないといけないというのはおかしい。例えば、認知症を防ごうという活動も大切である。</p>
31	<p>再編の考え方では空白期間を設けないとしているが、どういう意味か。</p>
32	<p>再編の考え方で示す新しい事業は選択制となっているのはいいと思うが、どれくらいで卒業となるのか。地域での活躍応援コースを充実しているようであるが、仲間をつくりたい人もいるので、地域に貢献するだけでなく、仲間づくりをしたい人のための講座を入れてもいいのではないかと。昔のことぶき大学のように趣味でもよい。健康について考えたいという人もいると思う。</p>
33	<p>再編の考え方で提案している事業は地域デビューばかりでないか。再編の考え方にある「基本構想」と「基本計画」に示された考え方は、現在のなかの生涯学習大学にあっていると思うが、どうか。</p>
34	<p>再編の考え方で提案した事業については、構造的に分析して構築したものであることを読み取った。なかの生涯学習大学の講師の先生は人生100年時代にあって、裾野が広いことが必要と言っている。絞ることに不安感がある。講師の先生はどう捉えているのか。どこまで練り込まれたものなのかを聞いたかった。中野区はどういう将来像を描いているのか。基本的なコンセプトが見えない。将来像を熱意を持って語ってほしい。活動指標ではなく、成果指標を掲げてほしい。</p>
35	<p>再編の考え方で提案された事業は、地域デビューしてくださいというものであると思う。コーディネーター養成講座も1回しか受講できない。社会福祉協議会の講座は毎年受講しようとは思わない。海外のことや生き方など、もっと柔軟な講座が軸にあつたらいいと思っている。選択制はいいが、選択できないと困る。見直しをすることはよいと思うので、まずはやってみてもいいと思う。ただし、目標をつくっておかないと、どのような問題があるか評価できない。</p>
36	<p>現役の生涯学習大学受講生でも、再編の考え方で提案されたようなものを学んでいる人もいる。これは、生涯学習大学に通わなくても学べる。現在の生涯学習大学の中心となっている部分は変えずに、地域での活躍応援コースを組み込んでいくことは可能である。提案された事業はなかの生涯学習大学ではないので、大学の名前は消してほしい。</p>
37	<p>再編の考え方で提案した事業の「地域での活躍応援コース」の事業でどれだけ地域デビューできているのか。地域での活躍につなげるために現在のなかの生涯学習大学はある。地域での活躍応援コースでコンサルティングを行うというのはいいいことだと思う。趣味で学ぶ講座は多彩につくっているが、仲間ができることが欠落しているため、バラバラになる。同じ人といつも会えるわけではない。期間も短い。これが問題である。何を学ぶかより、どう学ぶかである。</p>
38	<p>中野のまちを知らなかったため、知りたくて学んでいる。現在のなかの生涯学習大学は中野のまちのことを知る内容が少ないと思っている。中野駅周辺の開発や図書館のことなど、中野のことを知りたいと思っている。「地域での活躍応援コース」については、シニアだけに限定して実施するのはもったいないと思う。</p>

39	コースを最初から分けるのは反対である。社会福祉協議会の事業については、現在もパンフレットを配布したりしている。なかの生涯学習大学と社会福祉協議会の活動やボランティアの活動はまったく別物である。なかのZEROで学ぶ講座についても、文化フォーラムは18講座あるが、これを新しい事業に組み込んでも意味がない。新しい事業として実施するのであれば、とてもよいと思う。
40	再編の考え方のようにコースに分けるのはなかの生涯学習大学ではない。多様性のある人が集まっているのがよさである。地域活動をしたい人は自分たちで勝手にやっている。地域への参加を孤独な状態でやるのはハードルが高過ぎる。自分とは違う価値観をもっている人と話をするのがよい。入口からコースに分けるのはよくない。
41	分けることについては問題があると考えている。3年間しっかりやるなかで、仲間ができる。勉強も地域に参加するためのものである。しっかりした先生にきちんとサポートしてほしい。コース分けをせずに、1年で終わることはやめてほしい。出口戦略については大切であると言われ、「新しい中野をつくる10か年計画」では、なかの生涯学習大学を充実すると掲げられていた。地域の担い手を増やすということであれば、なかの生涯学習大学をバラバラにするのではなく、地域で活躍できるしくみをどう創るかが課題である。それを踏まえて、将来、地域の担い手をどう増やすかを考えるべきである。
42	現在のなかの生涯学習大学では、1学年・2学年・3学年で学んでいるが、令和4年度以降、1学年が入ってこないなか、2学年と3学年はどのように学ぶのかわからない。
43	なかの生涯学習大学の在校生が、なかの生涯学習大学を辞めて、新しい事業で学ぶことを希望しても大丈夫なのか。
44	再編の考え方で提案された事業には区民部など多くの関係部署や関係機関がかかわるが、きちんと企画・運営できるのか。それが不安である。非常にいいと思うが、試行的な期間や試行的な講座であってもいいのではないか。試行錯誤しながら、このようにやるとなれば、パイロット的な講座があってもいいのではないか。そうすれば、他部署や他機関との連携もうまくいくのではないか。
45	「再編」という言葉がよくない。そんな言葉を使うから驚いている。地域にデビューする人を増やしたいのであれば、それをやればよい。なかの生涯学習大学を受講して地域に参加する人は増えている。「地域での活躍応援コース」を生涯学習の場にもってくる必要はない。
46	1学年～3学年の縦のつながりが大切である。1年単位でぶつ切れでは、なかの生涯学習大学のよさが失われる。
47	令和4年度に1学年を募集しないと、後輩がいない状態となる。これまでの生涯学習大学と同じ学びはできない。
48	必修講座を充実させることは可能ではないか。ここでしっかり理解しあってスタートできるものにできないか。
49	再編案から地域の担い手人材をつくりたいということは読み取れる。地域の活躍を応援することが悪いとは言っていない。しかし、これはなかの生涯学習大学とは別の問題である。なかの生涯学習大学はきちんと目的を果たしている。
50	なかの生涯学習大学と再編案の比較表をだしてほしい。比較対象できないと検討できない。
51	再編の考え方の基本的なところは理解する。区の施設を使い、税金を使い、もっとできることがあるはず。自分のことだけでなく、周りに目を向ける視線を育てたい。
52	一足飛びに役立つ区民をつくらうとし過ぎたように思う。ソフトランディングできる場、マッチングできる場、人と人が繋がれる場があったらいいと思う。

53	受講生全員が満足する選択肢はない。区ができる範囲で選択肢を用意して、選ぶかたちがよいと思う。人気がないものは次年度入れ替えするなど対応が必要である。
54	可能であれば再受講可としてほしい。現在は定員割れしていても、再受講を認めていないので、もったいない。学び直しは必要である。
55	「学ぶ」ことと「主体的に活動すること」には大きな階段がある。それをつなげられるコーディネーターを養成することも大切と考える。
56	無理に地域活動につなげようとするのではなく、楽しい学びの時間を仲間と過ごすことで、必ず地域で活躍する人になると思うので、慌てずに取組んでほしい。
57	再編の考え方で示された案は、ターゲットを絞り込む視点がぬけている。担い手になりたい人と担い手としてスキルアップしたい人のための学びの場のように感じる。これだと受講する人は限られると思う。
58	再編の考え方で示された案は、多種多様な方々の要望をできるだけ取り入れようとする姿勢は評価できる。自ら考えるコースを選択できる点、また一度やってみて再度別のコースを再受講できる点、あるいは学び直しができる点はよく検討されていると思う。
59	「地域の仲間づくり」を重視したい人もいると思うので、「地域で学ぶコース」の内容を強化してほしい。1年ごとに切れるカリキュラムでは、「地域の仲間づくり」はできないので、その点を考慮した仕組みにしてほしい。
60	もっと中野区、あるいは地域の情報を知るきっかけができればよいと考える。
61	現在のなかの生涯学習大学のよさである「仲間づくり」のシステムは残すべきである。
62	一緒に学ぶ場がなくならないようにしてほしい。
63	現在のなかの生涯学習大学の魅力をこごとくつぶそうとする最悪の考え方であり、直ちに撤回してもらいたい。
64	選択肢が多いことは、入学時にやりたいことがある程度はつきりしている受講生にとっては、大きな魅力になると思うが、目的もはつきりせずに漠然と「学び続けたい、地域を知りたい」と思っている受講生には難しい選択になりそうである。

【区の考え方】 ご意見を反映して、再編の考え方で示した新しい事業（案）については見直しを行う。これをもとに、令和4年度になかの生涯学習大学の在校生・卒業生、地域で活動する団体の代表、公募の区民、学識経験者を交えた検討会を設置し、あらためて具体的な実施方法等について検討を行う。

(5) 運営委員会について

意見の概要	
65	運営委員会は、案を決めてから設置するということだが、案の段階で聞かないといけないのではないか。令和4年度から開講できるのか。
66	運営委員会にたたき台を示す必要がある。スタートしてから運営委員会に意見を聞いても解決できない。運営委員会に事前に見せるべきである。それには1年かかる。
67	運営委員会では、一堂に会して討論を行わないと効率的な話ができない。

【区の考え方】 運営委員会については、新たな事業を効果的に実施するための検討等を行う場として位置づけ、再編に先立つ検討については、令和4年度に検討会を設置して行うこととする。

(6) なかの生涯学習大学の卒業後の活動について

意見の概要	
68	なかの生涯学習大学の卒業生がことぶき会に入っていないのが悩みである。勧誘しても入る人は少ない。ことぶき会に対しては、「なかの生涯学習大学は続くので大丈夫である」というメッセージを発信してほしい。
69	現在のなかの生涯学習大学からことぶき会には誰も入っていない。かつては、現役の受講生が主役担って活動していた。OBが主役で活動するのは問題である。現役の受講生に仕切ってほしい。現役がことぶき会に入るしくみをつくってほしい。町会・自治会とは違う受け皿として活かしてほしい。
70	ことぶき会がこれからどうなるのかが不安である。再編の考え方の資料には、ことぶき会とのつながりが書かれていない。ことぶき会は地域に貢献している。しかし、いまは担い手の数が少なくなっている。受講生に説明する機会がない。ことぶき会とのつながりについて記してほしい。

【区の考え方】 令和4年度、なかの生涯学習大学のプログラムや講座の実施方法等を見直し、生涯学習大学の卒業生による活動を紹介する講座等を実施する。また、新たな事業においては卒業生による団体や地域の活動団体との連携を強化するとともに、支援を充実する。

(7) 今後の進め方について

意見の概要	
71	11月の団体向けの説明会と意見交換会は団体の方向けのものとするのか。他の方が参加できるような方法で開催することはしないのか。
72	大学連携といっても、区内の大学と調整をしたとは到底思えない。なかのZEROと調整したとも思えないし、社会福祉協議会と意見交換をしたのか。卒業生の団体にも何団体の声をかけたのか。区民部とも打ち合わせをしないで、たたき台をまとめていくのはどうか。50年の歴史を潰すのであれば、もう少しステップを踏むべきではないか。意見を聞くには時間がかかるはずである。今後のスケジュールを見直してほしい。
73	在校生が願うのは、再編するとしても、募集しないのはやめてほしいということである。学識経験者に意見を聴いても優しい人が多いのでどうかと思う。
74	再編案は急に出てきた。学びの場は大切であるので、運営委員会を開催してほしい。
75	きつい意見を申し上げてきたが、私たちは相対する立場ではない。こういう期間を長引かせてはいけない。お互いに話せばわかってくる。わからないことが多いので質問をしている。こういう会を重ねてほしい。講座が終わったあとでもいいので、課長が顔を見せて説明してほしい。説明してもらえれば、納得する人もいる。受講生全般、区民全般は関心が高いわけではない。行政の政策としては、最大公約数をとることが最大の眼目だと思う。ぜひ説明の機会をもってほしい。

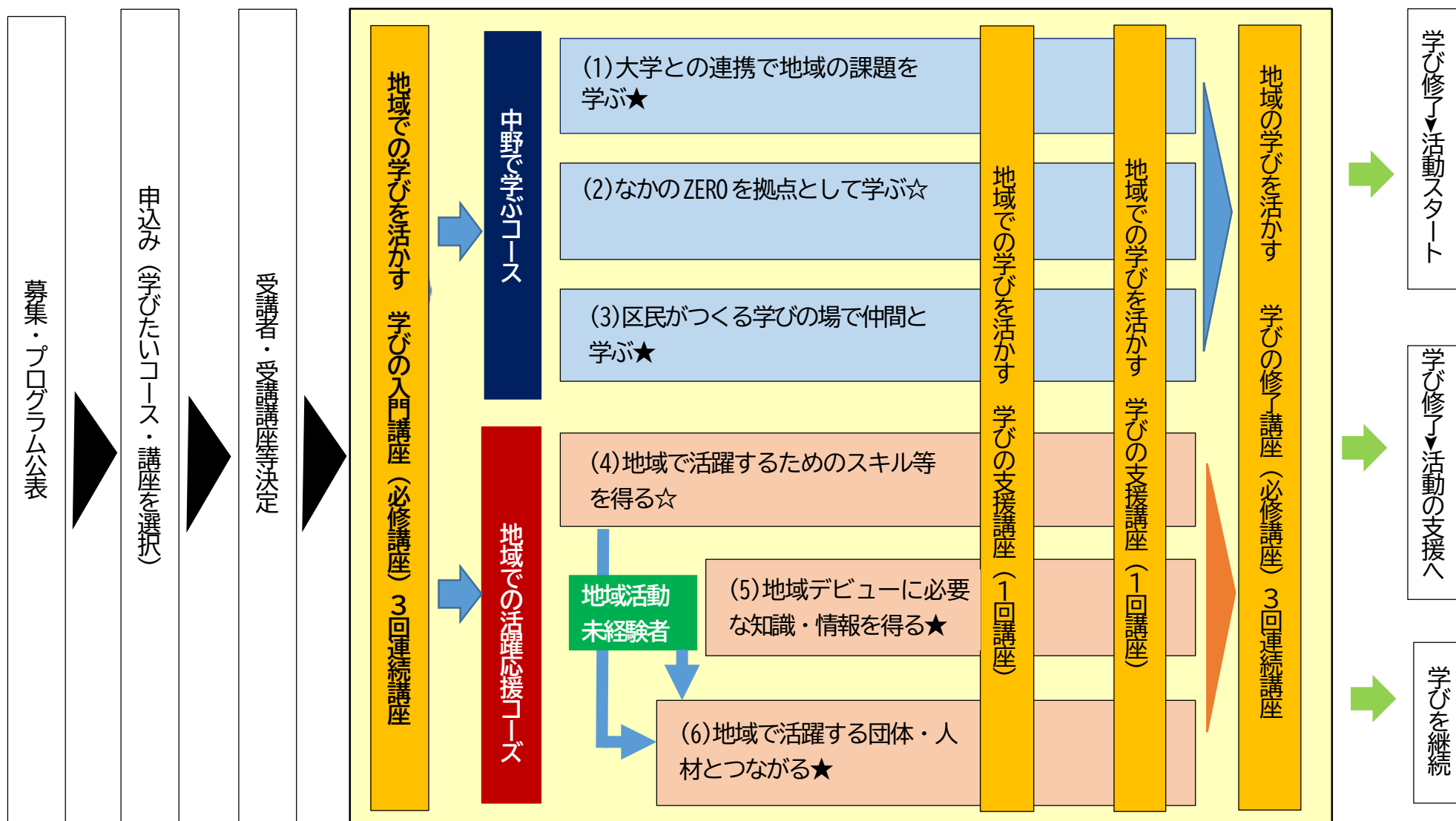
【区の考え方】 引き続き説明・意見交換の機会を設けるとともに、再編に先立ち、令和4年度、中野区における人生100年時代に生涯学習のあり方などについて検討を行うこととする。令和4年度、暫定的に令和5年度までの2年間の進級制によるプログラムでの受講を条件として1学年の募集を行う。

(8) その他

意見の概要	
76	区民部には社会教育主事がいる。地域支えあい推進部の生涯学習大学の担当をしてくる係長も社会教育主事の任用資格をもった専門家である。再編の考え方の検討や説明に専門家である社会教育主事が登場しないのが理解できない。
77	なかの生涯学習大学はすばらしい学びの場である。そのことについて、生涯学習を所管する区民部ではなく、福祉が専門である地域支えあい推進部の方が説明しても、私たちには響かない。区民部に参加してもらいたい。
78	再編の考え方からは区の生涯学習の全体像が見えない。専門職である社会教育主事がかかわっていないことが気になる。
79	再編(解体)が前提となった意見交換というか、ガス抜きの会という感じがした。継続か解体かの議論がない不毛な会議である。解体は、中野の輝かしい歴史の破談であり、区民が望んでいることなのか。政治家は任期がくれば辞めてしまうが、なかの生涯学習大学は永遠に続くものとするべきである。

【区の考え方】 再編については、地域支えあい推進部が全体調整を行いながら、区民部とともに検討を行っている。今後も地域支えあい推進部と区民部とで連携しながら検討を進める。

■ (仮称) 令和なかの生涯学習大学の体系概要とフロー (意見交換会での意見を反映した見直し案)



■なかの生涯学習大学再編後のシニアを対象とした学びと地域での活躍を応援する事業の流れと全体像（意見交換会での意見を反映した見直し案）～オンラインと会場でのライブの併用による

別紙3

【学びの流れ】 *募集時期：5月～6月 *開講時期：7月

年間プログラムを公表・募集 ▶ コース・講座を選んで申込 ▶ 入門講座（必修：受講するコース・講座を確定） ▶ それぞれ選んだコース・講座を受講 ▶ 終了講座（必修：学び・活動につなぐ）

※複数のコース・複数の講座の受講可。翌年度以降、再受講も可

【学びの体系・全体像】

★；新規／☆：既存事業の再編等

(仮称) 令和なかの生涯学習大学											
地域での学びを活かす (必修)			中野で学ぶコース (各講座選択制)			地域での活躍応援コース (各講座選択制)					
年齢	対 象	年 齢	(仮称) 令和なかの生涯学習大学での学び入門講座★	(仮称) 令和なかの生涯学習大学での学び支援講座★	(仮称) 令和なかの生涯学習大学での学び修了講座★	(1)大学との連携で生き方と地域の課題を学ぶ★	(2)なかのZEROを拠点として中野を学ぶ☆	(3)区民がつくる学びの場で仲間と学ぶ★	(4)地域で活躍するためのスキル等を得る(各部署等実施事業の再構築)☆	(5)地域デビューに必要な知識・情報を得る★	(6)地域で活躍する団体・人材とつながる＜出口支援＞★
原則として55歳以上の区民											
	対 象	年 齢	(仮称) 令和なかの生涯学習大学の各講座を受講する方	仲間とともに学び、人生を豊かにしたい方 *地域活動経験の有無等を問わず	仲間とともに中野を学び、人生を豊かにしたい方 *地域活動経験の有無等を問わず	中野について学ぶとともに、地域で仲間とともに活動したい方 *地域活動経験の有無等を問わず	地域で活躍するために必要な資格等取得したい方 *各講座ごとに定める	地域での活動経験がなく、中野について知り、地域デビューに必要な知識・情報を得たい方	地域での活動経験がなく、地域で活動する団体や人材とつながりたい方 * (4)(5)の受講が要件		
目的	(仮称) 令和なかの生涯学習大学の目的・講座の選び方や学び方、学ぶ意味の確認	学びを仲間と共有し、これからの活動につなげるためのグループワーク	(仮称) 令和なかの生涯学習大学で学びの振り返り・今後どう活かすかの学びと確認	中野で仲間とともに現代社会・地域課題について学ぶ	仲間とともに中野の歴史・文化・地域の取組などについて学ぶ	区民が企画・提供するプログラムで学び、地域での活動につなげる	地域での活動で活かせる資格等取得のために学ぶ	地域で活動するために必要な知識・スキルを学び、情報を得る	地域で活動する団体や人材と交流し、つながる機会を提供する		
内容	①学びのガイダンス ②中野のまちの現状と課題を学ぶ ③地域で学び、地域で豊かに生きる意味・大切さを学ぶ ④健康について学ぶ ⑤学びを活動につなぐ仲間づくりワークショップ*地域班・テーマ版	入門講座のグループを基本として ①各自の学びと活動を共有する ②これからの活動を共有する	①学びの振り返り ②学びを生活・地域で活かす意味を学ぶ ③活動の立ち上げ支援・卒業生の活動団体ほか地域の活動団体等の紹介など ④学びを活かす支援の案内	各大学の公開講座等のなかから選定した内容	①中野の歴史・地理・文化等（歴史民俗資料会の講座） ②中野の自治の歴史と地域の取組の現状・課題等 ③中野で人生100年時代を豊かに生きるために	区民が企画し・提供するプログラム *基金助成等活用による支援あり ＜例示＞ ・区民が企画する事業 ・区内団体が企画する事業 ・卒業生の団体が企画する事業 ほか	①各部署実施の講座 ②コーディネーター養成講座 ③地域活動応援！講座（社会福祉協議会）	①なかののまちを知る ②地域に必要なコミュニケーション力等 ③地域の活動を知る・体験する ④地域とつながる・団体の立ち上げ等 ⑤オンラインスキル *伴走型の支援あり	自分がやりたいことを探す講座と地域とつなぐための個別相談・アセスメント・助言・情報提供・支援 *伴走型支援あり ①地域デビュー入門講座 *自分がやりたいことを探す ②個別相談・支援		
形式	講義・グループワーク	グループワーク	講義・グループワーク	講義（・グループワーク）	講義・グループワーク	講義・グループワーク	各講座ごとに定める	講義・グループワーク	講義・個別相談等		
回数	3回連続講座×2回	2回（9月・1月）×2回	3回連続講座×2回	20回程度 *選択可	5～10講座程度（いずれも連続講座）*選択可	3～5講座程度		10回連続講座	2回連続講座・個別相談等		
定員	100人程度 *グループワークは20人程度			200人程度	100人程度	100人程度	50人程度	50人程度	100人 *個別相談等は1人2～5回程度		
開始予定	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	一部実施：令和4年度 本格実施：令和5年度	令和5年度	既存事業：令和4年度 新規事業：令和5年度	令和4年度	令和4年度		
実施主体	区民部／地域支えあい推進部	区民部／地域支えあい推進部	区民部／地域支えあい推進部	区民部	区民部	区民 *地域支えあい推進部・区民部が支援	各所管部・社会福祉協議会 *地域支えあい推進部調整	地域支えあい推進部	地域支えあい推進部		
フォロー	—	—	—	* (2)～(5)の講座等	* (1)(3)～(5)の講座等	* (1)(2)(4)(5)の講座等	* (1)～(3)(5)(6)の講座等	* (1)～(4)(6)の講座等	* (1)～(5)の講座等		